

平成29年度日本産業衛生学会九州地方会学会 プログラム

会 期 平成29年7月14日(金)・15日(土)
会 場 熊本市国際交流会館 6・7階 ホール (熊本市中央区花畑町 4-18)
学会長 大森 久光 ・ 加藤 貴彦 (熊本大学大学院 生命科学研究部)
協 賛 一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会
後 援 独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター

7月14日(金)

受付開始 12:30 ~
地方会理事会 12:15 ~ 13:05 (4階 第1会議室)
開 会 13:15 ~
学会長挨拶 13:15 ~

一般口演 (熊本市国際交流会館 6・7階 ホール)

< 第1セッション > 13:25~14:13

座長：河村 裕 (鹿児島県労働基準協会 ヘルスサポートセンター鹿児島)

1	中小企業の健康診断事後措置に関する実態調査 林 五月 (一般財団法人西日本産業衛生会 大分労働衛生管理センター)
2	年に1度の体力測定会の展開と有所見者の保健指導への活用 平島 美也子 (TOTO 株式会社 小倉第二工場 健康管理室)
3	産業保健現場で実施されている運動指導等に関する実態調査 (中間報告) 松垣 竜太郎 (産業医科大学病院 リハビリテーション部)
4	産業医だからこそ診断にこぎつけられた猪瀬型肝性脳症の一例 浅海 洋 (九州旅客鉄道株式会社 人事部勤労課 健康管理室)

< 第2セッション > 14:15~15:03

座長：野波 善郎 (日本赤十字社 熊本健康管理センター)

5	産業医契約事業場でのアクション・リサーチ 堀口 真愛 (公益財団法人 熊本県総合保健センター)
6	HbA1cの季節変動を考慮した健康診断や保健指導の重要性について 高木 佑介 (佐賀大学医学部 社会医学講座)
7	一事業所における雇入時健康診断対応からの学び 堀内 正久 (鹿児島大学 衛生学・健康増進医学)
8	ヘルスサポートセンター鹿児島における Brugada 型心電図について 河村 裕 (鹿児島県労働基準協会 ヘルスサポートセンター鹿児島)

- 休 憩 -

< 第 3 セッション > 15:15～16:03

座長：永田 昌子（産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学）

9	福島原発作業員の放射線不安に関するアンケート調査 岡崎 龍史（産業医大産業生態科学研究所放射線健康医学）
10	CT 検査における患者介助者の被ばく線量測定 永元 啓介（産業医科大学病院 放射線部）
11	当院 IVR 施行医の被ばく防護に対する実態調査 松崎 賢（社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 放射線科）
12	頭部血管撮影の DICOM-RDSR を用いた患者被曝線量管理の可能性 茂呂田 孝一（社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 放射線科）

< 第 4 セッション > 16:05～16:53

座長：松本 明子（佐賀大学医学部 社会医学講座 環境医学分野）

13	気管内注入試験によるナノ材料の有害性評価 - 注入器具の違いによる肺の反応性の検討 吉浦 由貴子（産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学）
14	インジウム作業員の頭部粉塵曝露：除去・防汚方法の有効性 平田 美由紀（九州大学 医学研究院 環境医学分野）
15	労働者の慢性筋骨格系疼痛による Presenteeism と恐怖回避思考の関係 白坂 泰樹（産業医科大学産業生態科学研究所作業関連疾患予防学研究室）
16	潜在的自己抗体保有に関する研究 黒田 嘉紀（宮崎大学 医学部 社会医学講座公衆衛生学分野）

特別講演 17:00～18:00（熊本市国際交流会館 6・7階 ホール）

座長：加藤 貴彦（熊本大学大学院 生命科学研究部 環境生命科学講座 公衆衛生学分野）

グローバル化時代の医療と海外勤務者の健康 ～世界を見てきた18年から～

演者：吉田 定信 先生（熊本県有明保健所 所長）

懇親会

日時：平成29年7月14日（金）18:30～

場所：ビュッフェレストラン「ぎんなん」（<http://www.kyusanko.co.jp/retail/ginnan/>）

熊本市国際交流会館から歩いて5分ほどの「城彩苑」の中にあります。

7月15日(土)

一般口演 (熊本市国際交流会館 6・7階 ホール)

< 第5セッション > 8:30~9:18

座長: 宮崎 さおり (株式会社 富士通九州システムサービス)

17	地域保健と産業保健の連携による事業所の健康づくり対策の支援 ～健康寿命の延伸を見据えた取組～ 阿南 恵理香 (大分県西部保健所)
18	保険者が取り組む職域におけるポピュレーションアプローチ ～「健康宣言ふくおか」事業主とのコラボヘルス事業～ 南島 寿範 (全国健康保険協会 福岡支部)
19	熊本地震における当社(イオン九州)の取組み ～産業保健スタッフの支援を中心に～ 中山 薫 (イオン九州株式会社(本社))
20	熊本地震において発生した産業保健ニーズ ～産業保健スタッフ向け危機対応マニュアルの有効性の検証～ 阿南 伴美 (ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 熊本テクノロジーセンター)

< 第6セッション > 9:20~10:08

座長: 辻 真弓 (産業医科大学 産業衛生学)

21	韓国の妊婦およびその子における血液重金属濃度の変化; 出生コホート研究 金 良昊 (蔚山大学医学部 職業環境医学教室)
22	改正高気圧作業安全衛生規則における改正点と規則施行後の現状 森松 嘉孝 (久留米大学医学部環境医学講座)
23	自治体職場における OSHMS 導入に伴う労働災害発生状況の変化 渡辺 裕晃 (大牟田市企画総務部職員厚生課)
24	本学病院職員における労災事故の推移—勤務中の針刺し事故を中心として— 丸山 徹 (九州大学 環境安全衛生推進室)

< 第7セッション > 10:10~10:58

座長: 真船 浩介 (産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学)

25	桜十字病院が実施者となったストレスチェックについての考察 宮田 由加利 (医療法人 桜十字 桜十字病院)
26	メンタルヘルスケアを志向したミニブタ生体リズムへのミネラルの影響 阿部 正治 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科衛生学・健康増進医学)
27	定期健康診断結果におけるハイリスク者の検討～労働者の重症化予防に向けて～ 中村 和歌子 (公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団)
28	外国人技能実習生の健康管理～母国語を用いた衛生講話の試み 山川 香奈子 (トッパングループ健康保健組合古賀東診療所)

教育講演 11:10～12:10 (熊本市国際交流会館 6・7階 ホール)

座長: 大森 久光 (熊本大学大学院 生命科学研究部 生体情報解析学分野)

メンタルヘルス不調者の復職支援 — 主治医と職場との連携を中心に

演者: 廣 尚典 先生 (産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学 教授)

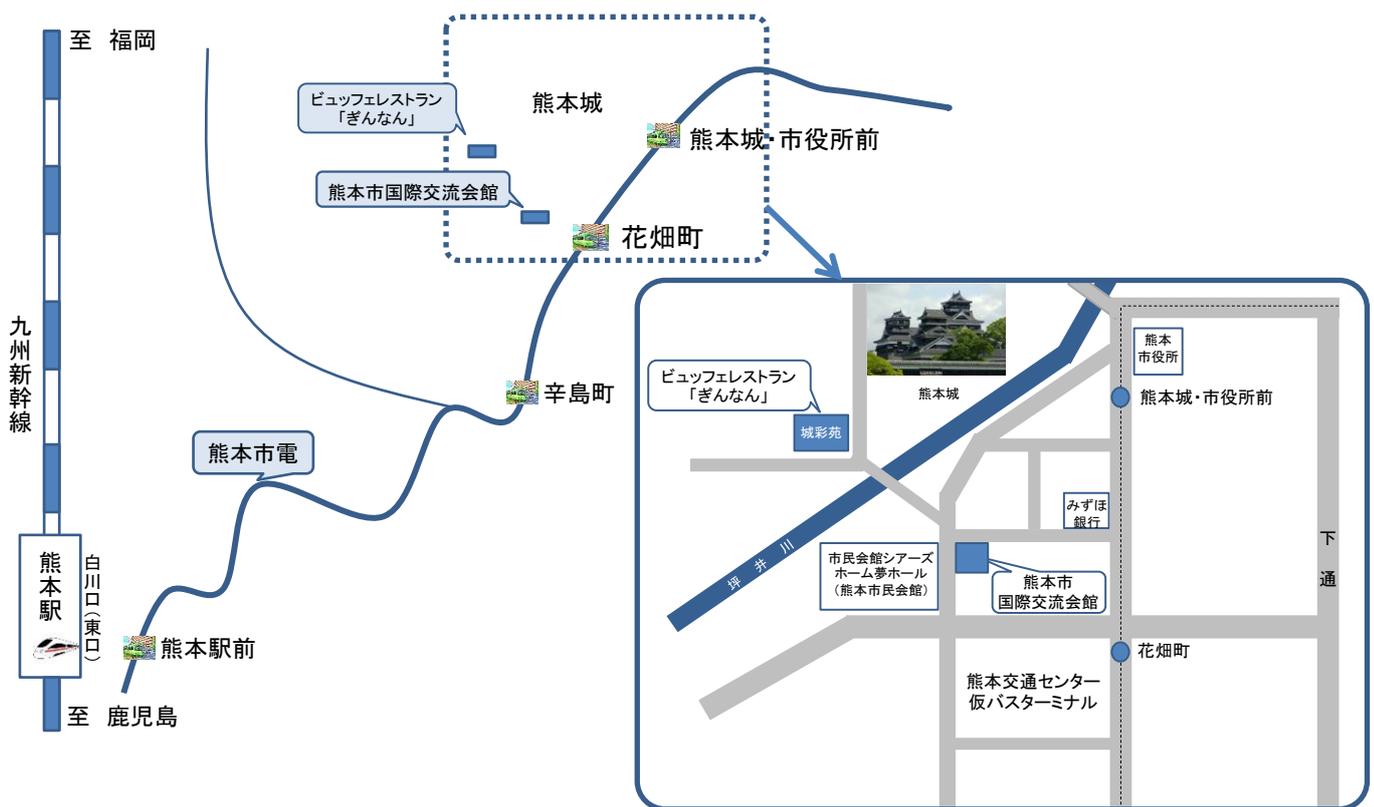
自由集会・総会 (熊本市国際交流会館 6・7階 ホール)

自由集会 (九州産業医部会) 12:20 ~ 13:10 (6・7階 ホール)

総 会 13:10 ~ 14:00 (6・7階 ホール)

自由集会 (産業看護部会) 総会終了後 ~ 16:30 (6・7階 ホール)

<アクセス>



JR 熊本駅より

- ・ 熊本市営電車で約 10 分、花畑町下車、徒歩約 3 分
- ・ 都市バス、九州産交バス、熊本電鉄バスで約 10 分、交通センター下車徒歩 3 分
- ・ タクシーで約 10 分

熊本空港より

- ・ 九州産交バスで約 45 分、交通センター下車徒歩 3 分

事務局: 熊本大学大学院 生命科学研究部 (担当) 尾上あゆみ・山口有希

TEL: 096-373-5462 E-mail: omorih@gpo.kumamoto-u.ac.jp